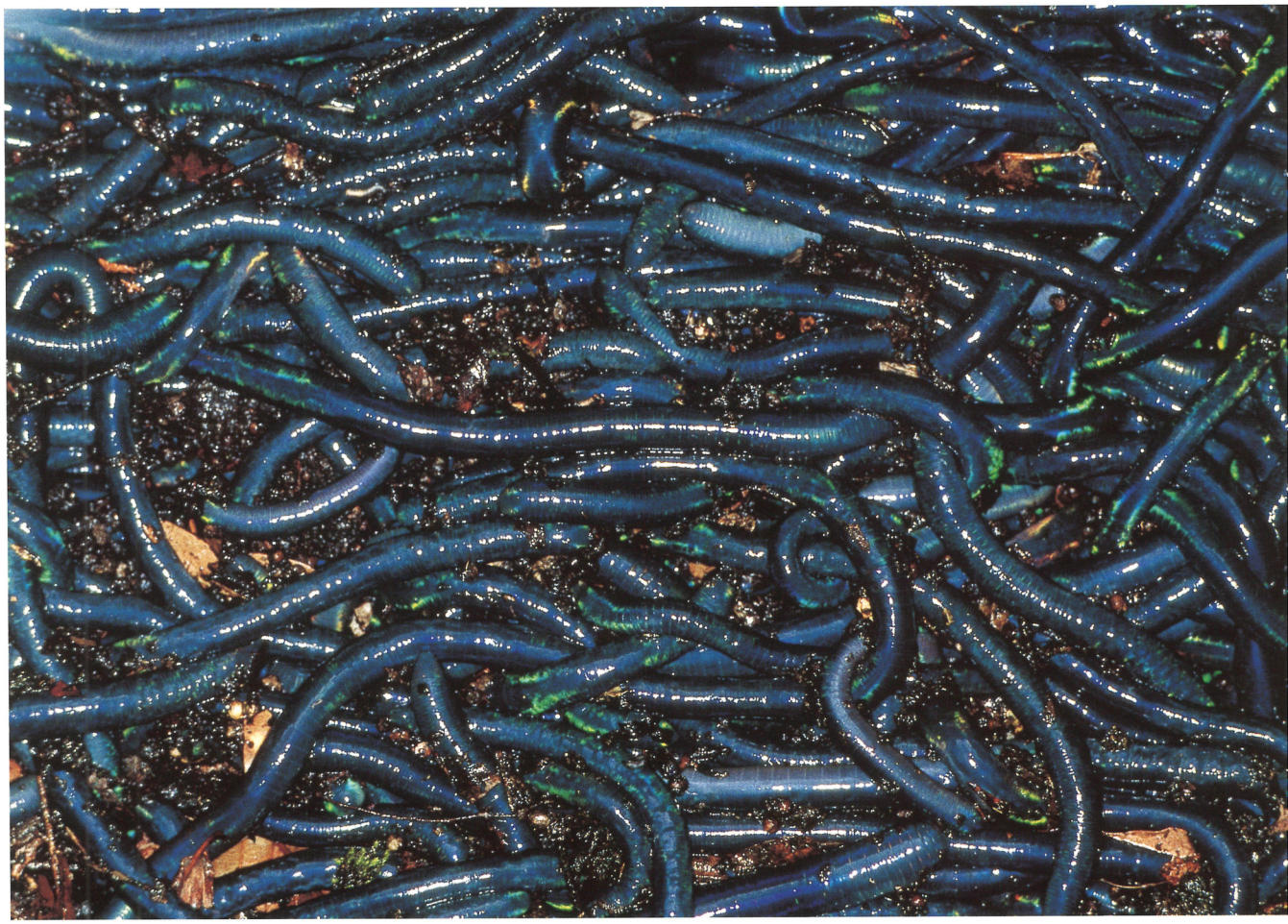
ISSN 0919-4657

KONC

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

関西自然保護機構会誌

24巻1号（通算43号）



2002年12月
関西自然保護機構

表 紙 の 言 葉

「シーボルトミミズ（*Pheretima sieboldi*）」

写真　皆越　洋征
文　渡辺　弘之

西日本の太平洋側に見つかる体長 30 cm，重さ 45 g にもなる瑠璃色の金属光沢を帯びた大きなミミズである。南西諸島には分布しないようだ。長崎出島にオランダ東インド会社の医師として滞在したシーボルト（von Siebold）が持ち帰り，R. Horst（1983）により新種 *Megascolex sieboldi* として記載されたので，シーボルトミミズと呼ばれ，わが国のミミズで最初に学名がついたものである。その後 *Pheretima* 属に移された。*Metaphire sieboldi* とすることもあるが，多くの日本の研究者は同意していない。標本は現在，ライデン博物館に保存されている。

九州ではヤマミミズ・ヤマヘビ，四国でカンタロウ，紀州でカブラッチョなどと呼ばれている。たじまゆきひこ「みみずのかんたろう」という絵本がある。秋に集団で山の斜面をおりてくることが知られ，場所によっては林道の側溝などにたくさん溜まり，地域の話題になることがある。いっせいに下りてくるといわれるが，それならいつ登るのだろうと疑問が浮かぶ。九州・水俣では春，斜面を登るのが観察されている。卵包がみつからないなど，生態はよくわかっていない。

写真は皆越洋征さんが宮崎県下で撮影されたもの，ミミズとはいえ，その色彩と集団での迫力にはたじろぐ。

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organazation for Nature Conservation）

KONC は自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978 年に創立されました。

KONC はその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現在，次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は，個人会員・維持会員の会費により，まかなわれています。